



The service club to the YMCA
 THE Y'S MEN'S CLUB OF
TAKARAZUKA

宝塚ワイズメンズクラブ
 〒 662-0977 西宮市神楽町 5-23
 西宮 YMCA 内
 Tel (0797)35-5987

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIS EVERY RIGHT

AFFILIATED WITH THE INTERNATION OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

宝塚ワイズメンズクラブ 2016年8月会報 第335号

主 題 ・ 標 語

国際会長(I P) JOAN WILSON (カナダ)

主 題: " Our Future Begins Today "

「私達の未来は、今日から始まる」

アジア地域会長(AP) Tung Ming Hsiao

主 題: " Respect Y's Movement "

「ワイズ運動を尊重しよう」

西日本区理事(RD) 岩本 悟 (熊本にし)

主 題: 「ワイズ魂で 更なるワイズの活性化を！」

“ Energizing Y's Men's Clubs with the Y's spirit ”

副 題: 「定例会の充実と活発な奉仕活動でメンバー倍増！」

Doubling membership through having substantial meeting and active

六甲部部长 長井 慎吾(西宮)

主 題: 「楽しい交流とやりがいのある奉仕活動で

更なるクラブ活性化を図ろう」

宝塚クラブ会長 若林 成幸

主 題: 「限らない挑戦で新たな気風を呼び込もう！」

今月のテーマ :ユース・アクティビティーズ

(Youth Activities)

子たちよ、神の国に入るのは、なんと難しいことか。金持ちが神の国に入るよりも、らくだが針の穴を通る方がまだ易しい。

(マルコ 10 章 24~25 節)

2016年8月大阪土佐堀クラブ・宝塚クラブ

合同納涼例会

日 時 : 2016年8月16日(火)18:30

場 所 : 宝塚ホテル新館3階シルバーの間

会 費 : 大人5,000円、子供1,000円

第1部 例会 ドライバー 大阪土佐堀クラブ

・開会点鐘 丹吾 礼会長

・ワイズソング 全 員

・ゲスト・ビジター紹介 大阪土佐堀クラブ

・聖書朗読 大阪土佐堀クラブ

・祈 禱 大阪土佐堀クラブ

・晩餐 懇談 一 同

・アトラクション

関学フラサークル「マハロ」

大阪土佐堀クラブコメントのピアノ

・中西部・六甲部部长挨拶

西野陽一中西部部部长

長井慎吾六甲部部长

・インフォメーション

・YMCAニュース

・誕生日記念日

・オークション

・YMCAの歌

・閉会点鐘 若林成幸会長

2016/17 役 員	会 長 若林成幸 直前会長 鯖尻佳子 副会長 多胡葉子 書 記 武田寿子 会 計 吉田 明 堀江裕一 会計監査 加藤光信 連絡主事 谷川 尚 メネツト連絡 福田素子
事 業 委員長	Y M C A サービス・ユース 多胡葉子 地域奉仕・環境 福田宏子・EMC 杉谷和代 交 流 石田由美子 ・ファンド 堀江裕一 広 報(ブリテン) 長尾 亘 (HP) 長尾 亘
特別事業 委員長	N G O 鯖尻佳子 じゃがいも 福田 肇 バザー 多胡葉子 市民クリスマス若林成幸
お誕生日 おめでとう!	多胡 葉子(3日) 森田 紀子(4日) 若林 弘子(28日)
7 月 実 績	例会出席者数 17名 在籍会員数 18名 功労会員数 1名 出席会員数 14名 出席率 77.7% メイクアップ(内数) 1名 メネツト 0名 コメント0名、ゲスト・ビジター2名
	B F ポイント 7月 4,300円 累 計 4,300円 にこにこBOX 7月 3,000円 累 計 3,000円 ファンド(物品販売) 0円 累 計 0円

7月第1例会報告

7月キックオフ例会が13日(水)6:30p.m.より宝塚ホテルゴールドの間で鯖尻佳子直前会長の点鐘で、メン13名、メネット1名、ゲスト2名、合計16名で始まった。



ワイズソング、聖書朗読、祈祷、ゲスト紹介に続き、6月24日～26日大阪で開催された第19回西日本区大会の報告がなされた。

西日本区理事、遠藤通寛氏より、『新人会長として労を惜しまぬご活躍に対してここに表彰します』との理事特別賞が鯖尻佳子直前会長に贈呈された。これは前代未聞のことであり当の本人のみならず、クラブ全員にとって驚愕、驚嘆、驚喜!であった。事実彼女の細やかな心遣い、言葉がけが多くワイズメンの心に届いたのであろう。また今回新たに設けられたEMCパートナー賞が吉田明メン、福田宏子メンに贈られた。

役員交代式後しばし会食の時間が持たれたあと、『限りない挑戦で新たな気風を呼び込もう!』の主題のもと若林成幸会長より、活動方針と計画が発表され、それに続き各事業委員会よりそれぞれの方針、計画が述べられた。それぞれの事業委員が新たな希望を携え活動を開始しようという意気込みが見受けられた。

5月半ばより、ほぼ1ヶ月間、若林会長夫妻がご長男一家のフランクフルト赴任を機に「ドイツ旅行記」を楽しんだ。

福田 宏子

7月第2例会報告

7月20日(水)18時から売布・夢吉において7月第2例会が鯖尻直前会長のご苦勞さん会を兼ねて行われた。出席者は、鯖尻、若林、多胡、石田、加藤、堀江、吉田、長尾、武田、福田宏、青柳、今田和計 12名。

1 8月例会の運営

8月例会は大阪土佐堀クラブとの合同の納涼例会として行う。双方の事情を考慮して次の日程に変更する。

第2例会:8/10(水)18:30 宝塚西公民館

納涼例会:8/16(火)18:30 宝塚ホテル

納涼例会の細部は7/24 夕刻、双方の世話役が集まって検討。(参照:合同納涼例会の詳細)

2 9月以降のゲストスピーカー

9月以降の例会ゲストスピーカー等について会長方針を受けて候補者を検討。8/10 例会にて調整する。

3 友好クラブ等の交流報告

- 7/17 東日本区に誕生した多摩みなみクラブのチャーターナイトの様子が石田・鯖尻メンから報告された。
- 7/25 はんしん自立の家夏祭りの案内があり、数名が参加の見込み。

4 ブリテン8月号の編集

長尾メンから大枠の編集方針が示され、詳細はメールにて配信。

7/24に協議した8/16 合同納涼例会の運営

大阪土佐堀クラブ・只野未来さん、若林会長、多胡葉子さん、石田の4名で宝塚ホテルと打ち合わせ。要約は以下の通り。

- 日時:8月16日(火)18:30～
- 会場:新館3階「シルバー」(去年のクリスマス例会会場)
- 会費:大人 5,000円(ゲスト、会員同額)
宴会プラン(ビール、ワイン、ウイスキー、

焼酎、日本酒、ソフトドリンク飲み放題)、こども
1,000円(中学生まで)

4. 予想人数:60~70名

5. 第1部 例会 開会点鐘:丹吾 礼 会長、
ドライバー・聖書・祈祷:土佐堀クラブが担当(ワイズソング、ピアノ伴奏:岩原義則直前会長コメント
岩原大悟君)

挨拶: 西野陽一中西部部長、
長井慎吾六甲部部長(公式訪問)

6. 第2部 懇親会 進行:宝塚クラブ

アトラクション:Mahaloによるフラ、岡野日和コメ
ット・岩原大悟コメントのピアノ演奏、オークショ
ン(売り上げは2等分)

閉会点鐘:若林会長

7. その他

- ①名札は各自クラブのものを使用、ゲストは各ク
ラブが作成
- ②締切8/13(土)、これ以降のキャンセルはチャ
ージ発生、増加は以降でも可能
- ③国旗、ベル、ガーベル、バナー、通常通り
- ④ドレスコードは、カジュアル(アロハシャツ、ムウ
ムウ、浴衣など)
- ⑤只野ワイズがチラシを作成、他クラブ、家族、
友人を誘うツールとして活用
- ⑥宝塚クラブファンドの豚肉販売あり
- ⑦Mahalo9名分の食事代は折半

若林成幸会長

会長の近況報告

暑い日々、皆様のご健康をお見舞い申し上げます。

さて、小生にとっての7月は合唱の季節でした。毎年7月中~下旬の1週間、宝塚市では国際的な合唱週間が行われます。小生は、宝塚合唱連盟や国際合唱コンクールの世話役を与えられ、何かと気の抜けない時期を過ごしました。

まず、今年、創立50周年を迎えた宝塚合唱連盟は恒例行事、宝塚交歓会を7/17に宝塚ベガホールで開催。連盟加入の15団体、450人が日頃の

練習成果を披露し5時間に及ぶ合唱の交流を行いました。また、7/23~24は、第32回、宝塚国際室内合唱コンクール(TICC)がベガホールで開催され、予備審査を合格した海外4団体、国内13団体が出場しました。欧州からラトビアとチェコのユース合唱団が、アジア地域から韓国の社会人グループと中国の高校生グループが来日し、国内団体から選抜された実力派団体とグランプリを競いました。最優秀賞に輝いたラトビアの“Youth Choir”Kamer...”は磨き抜かれた声楽の技術と感性豊かな音楽性で観客を魅了しましたし、総合第2位を獲得した韓国の“Collegium Vocal Seoul”はアカデミックな合唱音楽の正道を堂々と披露し圧巻でした。国内団体では三重市の”EST シンガーズ“が安定した実力を遺憾なく発揮し総合第3位となりました。コンクールの後、交流会が行われ「新宝塚音頭」を和太鼓と三味線入りで踊りました。大きな輪の中に10数名の浴衣姿の外国人が混じって宴を盛り上げてくれました。市民から寄贈された浴衣を着付けしてもらい、いかにも嬉しそうでした。

宝塚国際交流協会からも数名が通訳や旅行の付き添いに奉仕されていて、市民あげて海外・国内各地から訪れたお客様をもてなすことができました。このような合唱を通じた国際交流が長年続いていることを喜びたいと思います。

キックオフ例会で配布の年次報告書を岩国・鹿児島両クラブ会長宛に送付し、トライアングルDBC締結に向けての意向を打診しています。両クラブの返答を楽しみにしています。

8月のワイズは、大阪土佐堀クラブとの合同納涼例会を開きます。盛りだくさんのプログラムを楽しみ、土佐堀クラブとの交流がさらに深まることを期待しています。また、この機会に知人・友人を誘っていただいて、会員増強のきっかけができれば嬉しく思います。

若林 成幸



六甲部評議会

今年度第1回六甲部評議会が7月30日神戸市の「ラッセホール」で行われ、宝塚クラブからは、若林会長、鯖尻、多胡、福田ヒ、堀江の5名が出席しました。現在六甲部在籍者数は131名、評議会成立要件はその3分の1である44名以上ですが、59名の参加者があり、特に部長輩出クラブである西宮クラブからは17名の参加者があり存在感をめました。

新議事は濱浩一書記の司会ではじまり、神戸YMCAの井上真二総主事の来賓挨拶に続いて諸報告が行われました。総主事は神戸YMCA近況報告のなかで新三宮会館建設工事は計画通り進行中で来年2月に完成予定である旨話されました。

ることとなりました。

各クラブの報告は例年とおなじく、時間が無くなりみなさん大急ぎで、言い足りない御不満だったことでしょう。みなさんクラブ間の交流については積極的の感じでした。

第2部懇親会は同じラッセホール内のレストランルームではほぼ2時間、今回は特別のアトラクションはなく、各クラブがアピールなどをしました。

外は酷暑、半袖のまま上着を持たずに参加しましたら、ホール側の手厚い冷房サービス震えていました。

堀江裕一

東京多摩みなみワイズメンズクラブ チャーターナイト参加報告

2016年7月17日(日)16:00から京王線多摩センター近くの Conti 多摩センターで新しいクラブが誕生し国際協会から加盟認証状伝達式が行われました。

多摩地区に新しいクラブを、との熱い思いで東京まちだクラブ 25周年、東京コスモスクラブ 20周年の記念事業として出来たのが東京多摩みなみクラブです。

去年その話を聞いた時、強力な会員候補者がいます、と田中博之東日本区直前理事に中学部からの友人を紹介した事、そして東京まちだクラブは宝塚クラブのブラザーであると言う事で鯖尻佳子直前会長と共に出かけました。

去年秋から地道に説明会を開いて 15名のチャーターメンバーを与えられ、101名のメンバー、メンバーが各クラブから集まり、盛大なチャーターナイトでした。

多摩地区は 40年前は緑多い丘陵地帯でたぬきも出没したとの事ですが、今は私鉄2社、モノレール1社が乗り入れし企業や住宅地として開発されたニ



直前六甲部長進藤啓介メンの前年度活動報告、六甲部長長井慎吾メンの今年度部長方針、活動計画については評議会資料に記載されていますのでお読みいただきたいと思います、ただ六甲部会員数の減少傾向には歯止めがかかっておらず、大きな課題として残っています。

会計報告、特に来年度予算では、繰越金に手を付けないという方針のもとに、前年度に比し、緊縮気味となり、地域活動支援金、ユース支援金などが予算0となっており、賛否双方からの質疑がありました。部長より、必要が生じたときは評議会に諮り対処するとの言で承認可決されました。

次期活動方針・計画のなかでは、鯖尻佳子広報委員長より六甲部のパンフレット作成についての提案があり、その内容、使用する機会などの質疑があり、作成するか否かを含めて今後の役員会で検討す

ュータウンです。私は千里ニュータウンを思い出しました。

東京まちだクラブとは今年のパレンタインチョコ



のプレゼントのあと、鯖尻直前会長の細やかなフォローにより以前にも増して楽しい交流が続いています。まちだクラブでは鯖尻佳子さんに会える、との大きな期待があり初対面とは思えない盛り上がりでした。又、東日本区のメンバーともお話をしている中で、阪急沿線出身が数名おられる事が分かり親しみを感じました。

ワイズメンになってチャーターナイトのセレモニーを初めて経験し大きな感動です。

新しいクラブは年齢層も比較的若くこれからのワイズ活動へパワーを感じます。慌ただしい日帰り往復でしたが、1年後辺りに例会訪問をしてみなさんとゆっくり交流が出来る事を願っています。

石田 由美子

第19回チャリティラン 第一回協賛委員会報告

2016年7月19日に神戸YMCAカレッジで第一回協賛委員会が開催され宝塚ワイズから担当のYサ・ユース委員として多胡が出席。

今年は「あなたが走るとハッピーになる子供たちが増えます」を標語に11月3日(木・祝日)開催されます。宝塚クラブは協賛委員会の構成グループとして協賛企業などへの募金及びラッフル商品の提供をお願いすることと例年のように当日の出店、グループランに参加、の協力をしていきたいと思います。

残念に思ったことはこの委員会のメンバーは主に六甲部各クラブからYサ・ユース担当者により構成されている。今回第一回委員会の開催にあたって各クラブへ出席依頼が要請されたにも関わらず参加者は神戸、神戸ポート、宝塚からのみで他のクラブからの出欠の返事もなかったということです。

多胡葉子

神戸YMCA留学生の浴衣体験

神戸YMCAの要請により、さる7月20日午後古座岩さんとお手伝いに参加しました。神戸YMCA

の元職員の着付け教室の先生も参加、古座岩さんは初めに着物と浴衣の違いを



紹介。それから男女に分かれてそれぞれ着付けもしました。若い留学生相手なので気持ちが華やいで楽しい時間でした。浴衣を着てからホテルのご厚意で11階のお庭でしばらく散策させていただき、写真撮影会。私達も入れて頂きました。撮影の時、古座岩章子さんが姿を整えて下さり、女の子はしとやかに女の子らしい色気を男の子は立派に見せる形を教えてらっしゃいました。来年も喜んでお手伝いしたいと古座岩さんの感想でした。

水谷恭子

【今月のみ言葉】

イエスが語った言葉の中にはユーモラスな

言葉も少なからず含まれていますが、この言葉もその一つに数えられるように思います。この言葉は、イエスに従って行きたいという思いを強く持ちながらも、資産家であったために、自分の財産を売り払った上で私に従って来なさいというイエスの要求に応えることができず、悲しみながら立ち去ったある金持ちのエピソードの直後に語られた言葉です。ここでは「金持ちが神の国に入るよりも、らくだが針の穴を通る方が容易」と言われているわけですが、らくだが針の穴を通ることはそもそも不可能です。文字通りに読むと、ここでは金持ちは神の国に絶対入れないと言われていることとなります。この言い方があまりに辛辣であるため、ここでの「針の穴」は実はエルサレムの町の門を指しているのだというようなまことしやかな主張も打ち出されてきましたが、この説にはまったく信憑性はありません。そうだとすると、この言葉は何も語っていないことになるからです。

もっともイエスは、「金持ちは絶対に救われない」と本気で言おうとしたのではないように思います。むしろ、あえてこのような誇張表現を用いることによって、イエスに従って行くことの大変さを強調し、従って来ようとする者にそれ相応の覚悟をもつことを要求されたのではないのでしょうか。私たちも、この世的な価値観のみに捉われるのではなく、真理を探究する生き方を追求する者でありたいと思います。

嶺重 淑

YMCA だよい



いよいよ、夏本番です。

YMCAのキャンプはユースボランティア(主に大学生)による働きが大きいですが、近年大学生の夏休みは8月から始まり、9月いっぱいまでとなっていますので、ほとんどのキャンプが8月に集中しています。

今年は、猛暑、台風が発達しやすい気候になっているといわれています。すべてのプログラムが安全の上であり、子どもにとって大きな恵みのあるものとなりますようお祈りをあわせてください。

また、熊本地震を受けて、今九州地方への旅行は復興割引を行っているようです。多くの方が支援だけでなく、豊かな自然を見る中で、地域の復興が進むように感じています。神戸YMCAでは熊本地震緊急支援募金をホームページでも募集しています。あわせてご覧ください。

<http://kifu-kobeymca.org/>

1. はんしん自立の家サマーキャンプ

例年、はんしん自立の家より応援遠征をいただいて、入居されている方とキャンプを楽しむ「サマーキャンプ」ですが、今年度は8月21日(日)の午後よりはんしん自立の家で開催します。

一緒にカレーを食べたり、スイカ割をしたり、キャンプファイヤーを楽しんだり、まさにキャンプを施設で行います。よければご一緒に楽しみましょう。参加を希望される方は谷川まで。

2. YMCAブランディング

先月ご案内したYMCAブランディングですが、全国で中間発表を行うこととなりました。これまでアンケートなどをもとに作ってきたものについての中間発表とともに分かち合いの時間を持つ中で今後を考えていくというものです。

近くでは大阪YMCAで8月6日(土)13時より行われます。YMCAの歴史を共に刻んでいただいたワイズの有志皆さんも関心のある方は谷川まで連絡ください。

近況報告

石田由美子ワイズが第72回台湾国際大会に参加

